

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	2 (2)	事業所と地域とのつきあい 事業所自体が地域の一員として日常的に交流が行えていないのが現状である。事業所の開放や地域の方が足を運んで頂く事でお互いの関係を深めていく必要がある。	グループホームをもっとオープンにする事で地域との繋がりを持てる環境を作る。	・町内会の総会へ出席を行い、施設の説明をすることで、グループホームの理解を深める。 ・定期的な地域サロンを開催できるように施設の4Fを活用して頂けるように具体化する。	1ヶ月
2	24 26	これまでの暮らしの把握 チームでつくる介護記録とモニタリング 本人の思いやご家族様からの必要と思われる内容が、施設計画書への反映が少なく、職員ひとりひとりのケア統一ができていない。	本人の要望を聞きプランへ反映する。また、ご家族様からの必要と思われる要望も聞き取り、職員ひとりひとりが理解を行い、ケアにあたる。	・本人への聞き取りを実施する。本人より聞き取りが困難な方は、本人の生活歴やご家族様より聞き取りを行うながら、個別ケアができるように短期目標・長期目標へ反映する。 ・担当者会議を3ヶ月に1回は行い評価を行う。	3ヶ月
3	27	個別の記録と実践への反映 個別記録への記載が薄い状況となっているので、ケアの内容や日々の様子を濃い内容にしていき、第三者が見て、その方の生活が想像ができ分かるようにする必要がある。	個別記録への記載内容を見直して、その方の生活やケア援助の実施や情報共有に繋げる	・個別記録の見直しを行う。 ・記載方法の統一を図り、具体的に記載する。 ・情報共有の一環として点から線へ繋げるように記載する。 ・個別の援助に対して、プランから反映を行う	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。